

(小規模企業景気動向調査)

三重の景況

No.59

(平成23年7月～12月期)

三重県商工会議所連合会

桑名	商	工	会	議	所
四日市	商	工	会	議	所
鈴鹿	商	工	会	議	所
亀山	商	工	会	議	所
津	商	工	会	議	所
松阪	商	工	会	議	所
伊勢	商	工	会	議	所
鳥羽	商	工	会	議	所
上野	商	工	会	議	所
名張	商	工	会	議	所
尾鷲	商	工	会	議	所
熊野	商	工	会	議	所

はじめに（総括）

三重県商工会議所連合会では、県下12商工会議所合同で、地域の小規模企業を対象とした景況調査を年2回実施しています。このたび平成23年下期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県下の景気動向を示す指標である「現状」のD I値は、平成18年下期の $\Delta 37.9$ を境に、平成21年上期の $\Delta 73.3$ まで悪化してしまいました。今回の調査結果では、前々期（ $\Delta 58.6$ ）、前期（ $\Delta 54.2$ ）に引き続き、今期は $\Delta 51.9$ と2.3ポイント改善しており五期連続の回復が見て取れます。しかしマイナス幅は依然高水準で推移しており、小規模事業者における厳しい経営環境が続いているのが窺えます。また、「今後の見通し」は前期よりやや悪化しており、決して明るい状況とは言えません。業種別のD I値では、「現状」はほとんどの業種で改善が見られますが、小売業と交通運輸業では悪化となりました。また、地区別のD I値で見ると、伊賀地区の「現状」で悪化が見られるものの、その他の地区では改善が見られました。

今回の調査での「現状」のD I値の回復状況を業種別で見ると、製造業のD I値は $\Delta 43.3$ （前回 $\Delta 50.4$ ）で7.1ポイント回復、建設業は $\Delta 50.1$ （前回 $\Delta 50.4$ ）で0.3ポイント回復、卸売業は $\Delta 53.1$ （前回 $\Delta 68.7$ ）で15.6ポイント回復、飲食業は $\Delta 61.0$ （前回 $\Delta 63.4$ ）で2.4ポイント回復、サービス業は $\Delta 46.1$ （前回 $\Delta 55.2$ ）で9.1ポイント回復しています。しかし、小売業は $\Delta 68.1$ （前回 $\Delta 61.2$ ）で6.9ポイント悪化し、交通運輸業は $\Delta 62.7$ （前回 $\Delta 48.0$ ）で14.7ポイント悪化しました。

その他の項目では「売上状況」、「売上見通し」、「利益状況」、「販売条件」、「仕入条件」、の各項目で改善が見られました。中でも「売上状況」は $\Delta 37.0$ （前回 $\Delta 45.9$ ）と8.9ポイントの改善が見られました。

また、景気の現状を計る一つの項目でもある設備投資実績については、「行った」と回答した割合が12.9%（前回11.0%）と高くなり、「今後の予定あり」と回答した割合も10.6%（前回9.4%）と高くなりました。借入の状況（難易度）のD I値については、 $\Delta 4.7$ （前回 $\Delta 3.8$ ）とやや悪化しました。

現状のD I値をはじめ、多数の項目で改善傾向にあることから、東日本大震災等の影響が緩和され緩やかな回復傾向にあると言えます。また、東紀州地区において懸念された激甚災害指定の台風による水害被害の影響も数値で見ると限定的でした。しかし、回復に向かっているとは言え数値は低水準で、今後も少子化、人口減少、デフレの進行、世界的経済危機と小規模企業を取り巻く厳しい環境が続くことが予想されます。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様のさらなる理解に資することになれば幸いです。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことに対し厚く御礼申し上げます。

平成24年2月

三重県商工会議所連合会

も く じ

(調 査 内 容)

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況 DI 値の推移	6
2. 売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	9
5. 販売条件	9
6. 仕入条件	10
7. 設備投資	10
8. 資金繰り状況と今後の見通し	11
9. 借入状況	12
借入難易度 DI 値の推移	13
10. 借入予定	14
11. 借入希望先	14
12. 借入金の使途予定	15
13. 経営上の問題点	15
・ 県下商工会議所地域における景況	17
・ 調査票（写し）	

「三重の景況」調査要領

1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県下 12 商工会議所 [*1] が、小規模企業 [*2] の動向を
合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を地区別 [*3] に行い、合わせて各会議所
地域ごとの景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

[*1] 県下商工会議所

桑 名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴 鹿商工会議所	中小企業相談所
亀 山商工会議所	中小企業相談所
津 商工会議所	中小企業相談所
松 阪商工会議所	中小企業相談所
伊 勢商工会議所	中小企業相談所
鳥 羽商工会議所	中小企業相談所
上 野商工会議所	中小企業相談所
名 張商工会議所	中小企業相談所
尾 鷲商工会議所	中小企業相談所
熊 野商工会議所	中小企業相談所

[*2] 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員 5 人以下、製造・建設・その他の業種については
20 人以下。（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

[*3] 県内各地区は下記の通り

北勢地区	……	桑名・四日市店・鈴鹿・亀山
中勢地区	……	津・松阪
南勢地区	……	伊勢・鳥羽
伊賀地区	……	上野・名張
東紀州地区	…	尾鷲・熊野

2. 調査対象・回答状況

県下 12 会議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業 9,652 社を対象とした。回答状況は、回答状況は、回答率 26.2%、回答企業 2,527 社であった。

3. 調査方法

郵送方法によるアンケート方式

4. 調査期間

平成 24 年 1 月 4 日～1 月 13 日

※当調査は、“1 月～6 月期”と“7 月～12 月期”の年 2 回、調査を実施している。

5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、伊勢・鳥羽・尾鷲・熊野の 4 商工会議所が担当した。なお、各商工会議所地域の景況は当該商工会議所が担当した。

D I 値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

D I 値とは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

（注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第 2 位で四捨五入をしているため、合計が 100.0 にならない場合があります。

業種別・地区別回答状況

単位：企業 ()：% 上：業種別構成率 下：地区別構成率

業種	地区	北勢				中勢			南勢			伊賀			東紀州		計			
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山	津	松阪		伊勢	鳥羽		上野	名張		尾鷲	熊野				
製造業	食料	51	16	17	15	3	20	8	12	9	4	5	11	3	8	21	16	5	112	
	せんい	8	2	3	3	0	4	1	3	0	0	0	6	5	1	0	0	0	18	
	機械	72	27	26	14	5	13	5	8	17	8	9	10	4	6	3	3	0	115	
	金属製品	89	48	12	27	2	12	5	7	9	5	4	6	2	4	3	3	0	119	
	木材	16	8	6	2	0	20	2	18	6	4	2	2	1	1	13	11	2	57	
	化学	16	4	7	3	2	4	3	1	1	1	0	4	1	3	0	0	0	25	
	窯業	15	4	8	3	0	2	0	2	1	1	0	0	0	0	4	3	1	22	
	印刷出版	8	3	0	4	1	18	12	6	6	5	1	3	0	3	2	1	1	37	
	その他	63	24	13	21	5	18	8	10	11	11	0	6	0	6	16	13	3	114	
計		338 (27.2) (54.6)	136	92	92	18	111 (21.5) (17.9)	44	67	60 (18.3) (9.7)	39	21	48 (20.5) (7.8)	16	32	62 (30.2) (10.0)	50	12	619 (24.5) (100.0)	
非製造業	卸売業	食料	16	9	4	3	0	12	4	8	6	6	0	5	2	3	4	4	0	43
		せんい	6	3	2	1	0	3	1	2	2	2	0	4	4	0	0	0	0	15
		その他	47	19	21	7	0	22	7	15	7	3	4	13	3	10	4	2	2	93
		(小計)	69	31	27	11	0	37	12	25	15	11	4	22	9	13	8	6	2	151
	小売業	せんい	36	14	11	6	5	19	3	16	16	10	6	9	6	3	17	12	5	97
		食料	50	18	13	15	4	21	5	16	13	6	7	14	5	9	15	10	5	113
		日用品	13	8	1	3	1	5	1	4	2	0	2	8	8	0	5	4	1	33
		電気製品	22	7	2	11	2	9	4	5	6	5	1	6	2	4	6	3	3	49
		その他	93	31	29	23	10	47	12	35	39	22	17	11	3	8	13	9	4	203
	(小計)	214	78	56	58	22	101	25	76	76	43	33	48	24	24	56	38	18	495	
	サービス業	美容・理容	26	4	9	10	3	13	6	7	4	4	0	4	0	4	10	6	4	57
		ホテル旅館	5	0	1	4	0	5	1	4	14	2	12	2	0	2	4	2	2	30
		自動車整備	28	10	4	12	2	18	4	14	9	8	1	9	0	9	8	5	3	72
		不動産	45	17	26	1	1	20	12	8	4	4	0	8	0	8	1	1	0	78
		その他	86	32	25	22	7	37	26	11	29	26	3	20	6	14	7	2	5	179
		(小計)	190	63	65	49	13	93	49	44	60	44	16	43	6	37	30	16	14	416
	建設業	土木工事	61	13	13	33	2	17	8	9	8	5	3	10	1	9	6	5	1	102
		建築工事	116	36	37	40	3	47	28	19	23	16	7	19	5	14	9	8	1	214
		その他	122	33	49	34	6	47	26	21	26	18	8	19	1	18	6	5	1	220
		(小計)	299	82	99	107	11	111	62	49	57	39	18	48	7	41	21	18	3	536
	飲食業	66	15	17	31	3	26	3	23	41	26	15	16	6	10	18	15	3	167	
	交通運輸業	16	3	8	1	4	17	2	15	2	1	1	2	0	2	6	6	0	43	
	計		854 (68.6) (47.2)	272	272	257	53	385 (74.6) (21.3)	153	232	251 (76.5) (13.9)	164	87	179 (76.5) (9.9)	52	127	139 (67.8) (7.7)	99	40	1,808 (71.5) (100.0)
その他	52 (4.2) (52.0)	13	14	20	5	20 (3.9) (20.0)	16	4	17 (5.2) (17.0)	15	2	7 (3.0) (7.0)	1	6	4 (2.0) (4.0)	4	0	100 (4.0) (100.0)		
合計		1,244 (100.0) (49.2)	421	378	369	76	516 (100.0) (20.4)	213	303	328 (100.0) (13.0)	218	110	234 (100.0) (9.3)	69	165	205 (100.0) (8.1)	153	52	2,527 (100.0) (100.0)	

1. 現状と今後の見通し

a) 現状 (図—1・2・3 参照)

全回答企業 2,527 事業所中、「良い・やや良い」が 8.6%、「変わらない」が 30.5%、「悪い・やや悪い」が 60.5%で、D I 値は△51.9 (前回 54.2) となり前回より 2.3 ポイント改善している。

業種別の D I 値では、小売業△68.1、交通運輸業△62.7、飲食業△61.0、卸売業△53.1、建設業△50.1、サービス業△46.1、製造業△43.3、その他△35.0 の順となっている。

地区別の D I 値では、北勢地区△50.9、中勢地区△53.2、南勢地区△52.2、伊賀地区△49.1、東紀州地区△57.1 であった。

図—1 現状について (業種別)

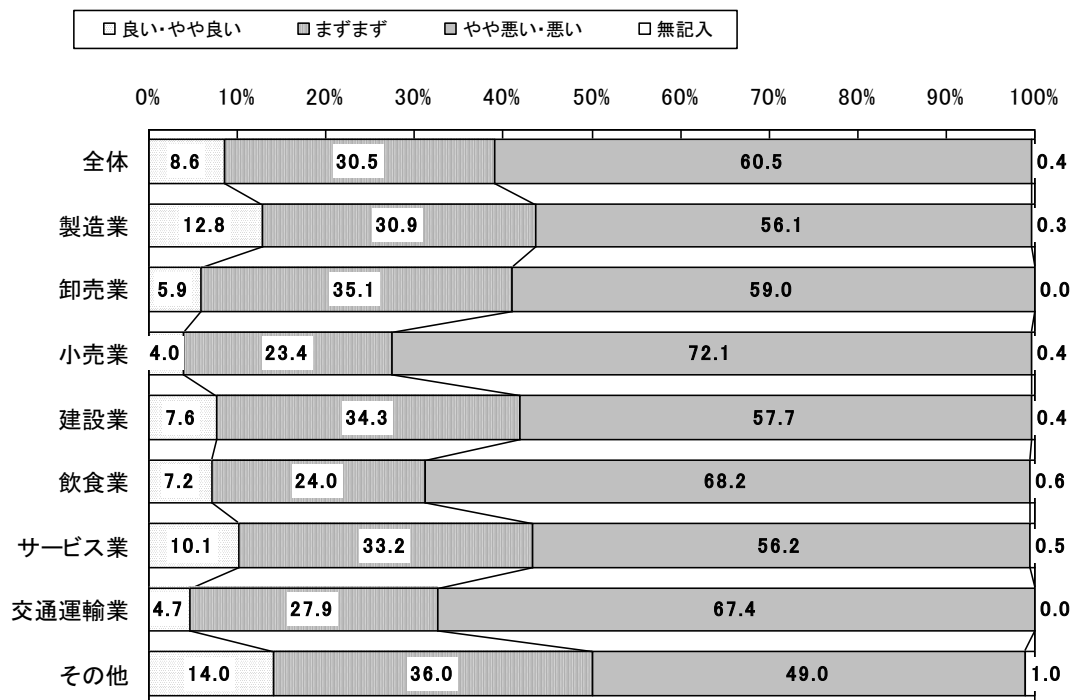


図-2 現状について（全体・地区別）

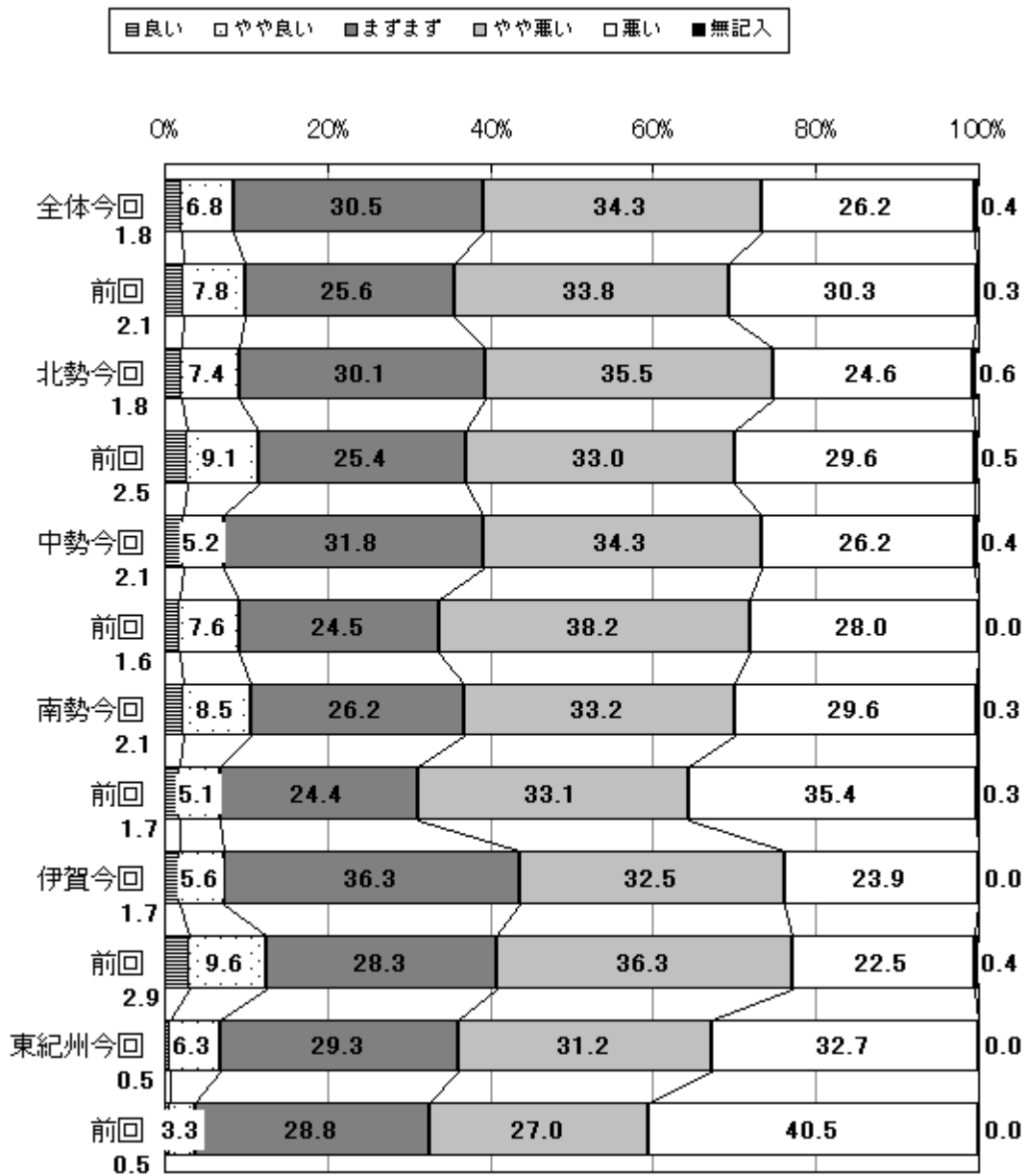
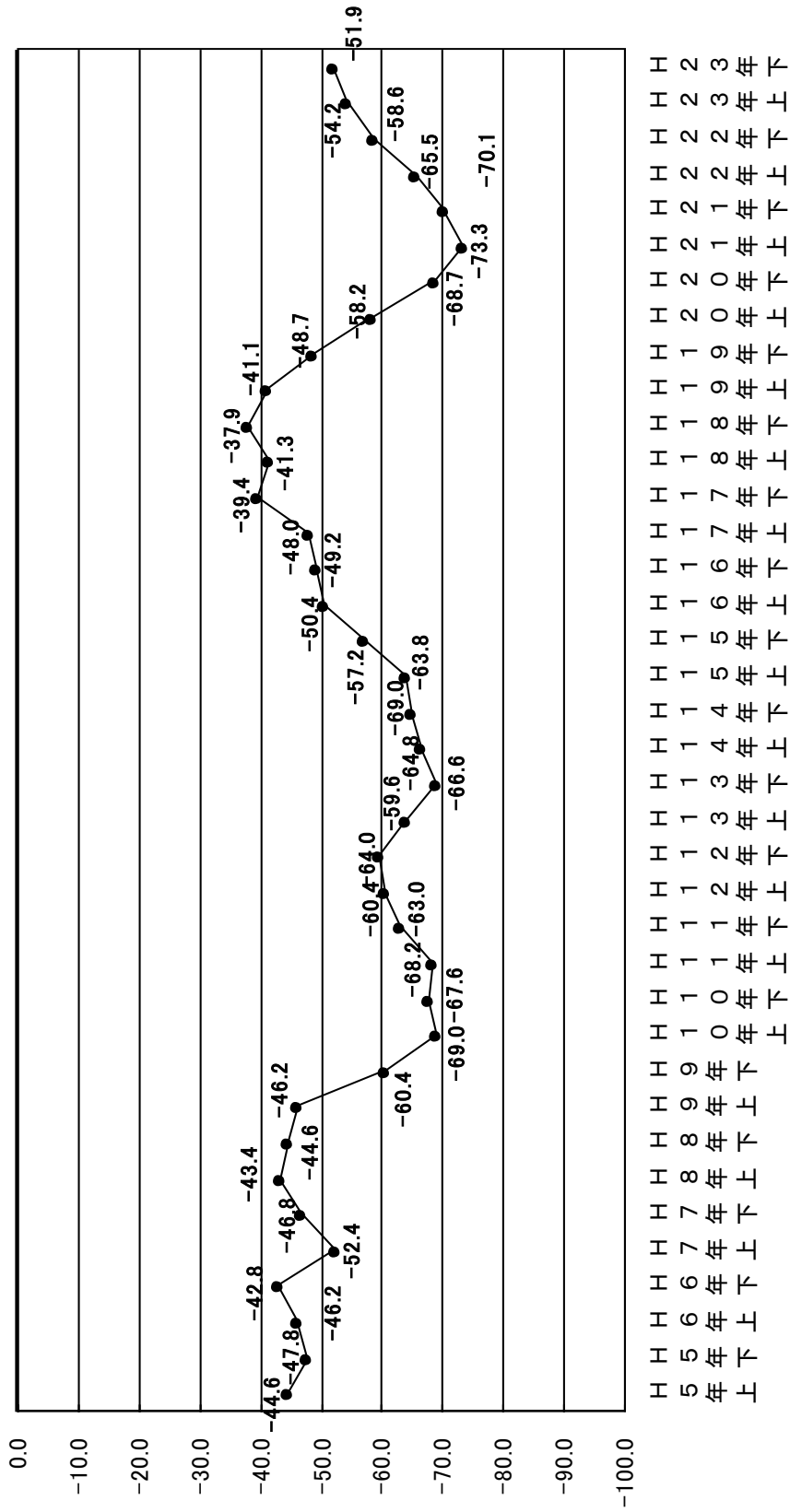


図-3 現況D I 値の推移



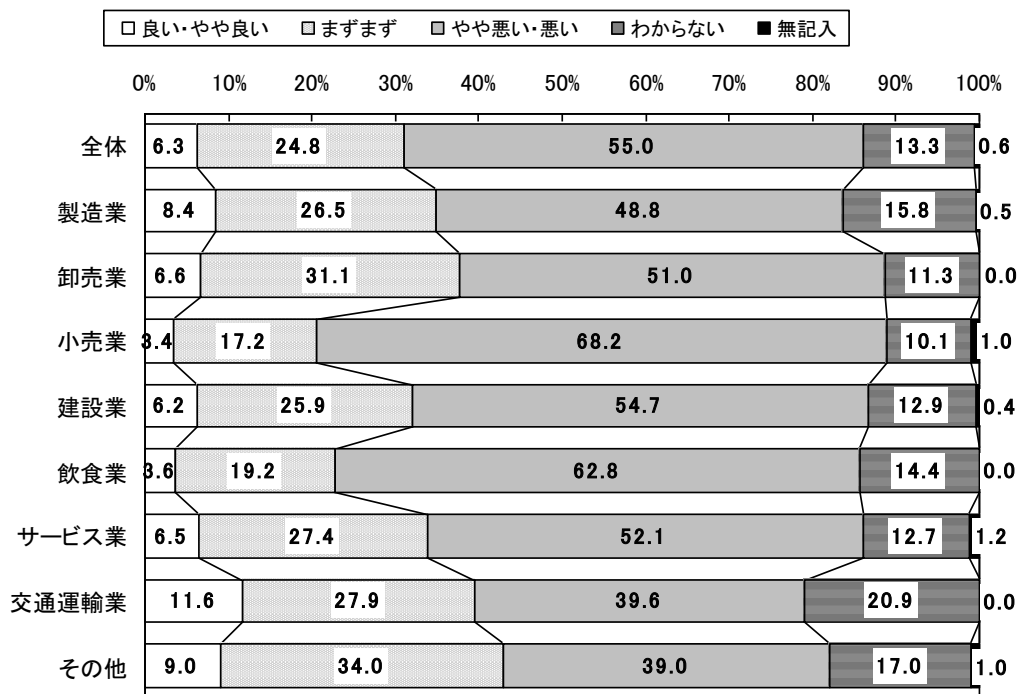
b) 見通し（図—4 参照）

全体の見通しでは、「良い・やや良い」が6.3%に対し、「悪い・やや悪い」は55.0%で、D I 値は△48.7（前回△48.5）となり、0.2ポイント悪化となった。

業種別では、D I 値で小売業△64.8、飲食業△59.2、建設業△48.5 サービス業△45.6、卸売業△44.4、製造業△40.4、その他の業種△30.0、交通運輸業△28.0の順であった。

地区別のD I 値では、北勢地区△47.2、中勢地区△49.2、南勢地区△48.5、伊賀地区△53.8、東紀州地区△50.3であった。

図—4 今後の見通しについて（業種別）

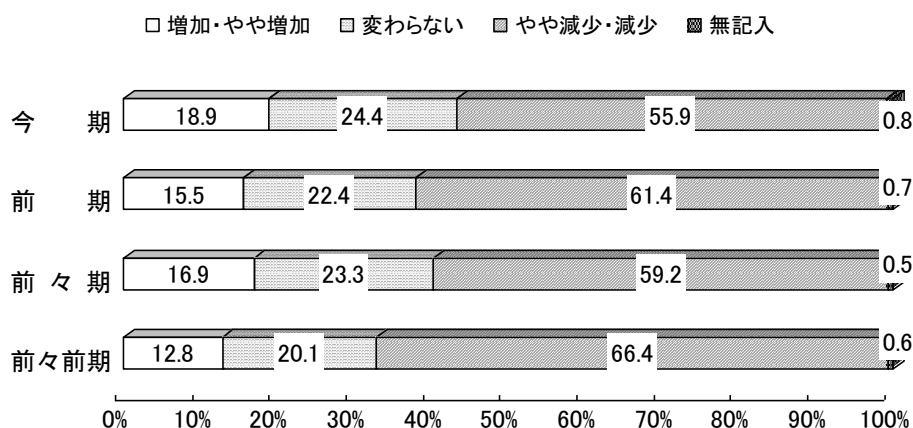


2. 最近の売上状況（図—5 参照）

全体では、「増加・やや増加」が18.9%（前回15.5%）、「やや減少・減少」が55.9%（前回61.4%）で、D I値は△37.0（前回△45.9）となり、8.9ポイント改善した。

業種別では、その他の業種のD I値は△35.0（前回△26.3）と悪化が見られるが、それ以外の業種では改善している。特に卸売業では、△35.1（前回△51.9）と16.8ポイント改善している。地区別では、全地区が改善となった。特に南勢地区△44.9（前回△57.5）、東紀州地区△45.9（前回△58.5）と12.6ポイントの改善となった。

図—5 売上状況

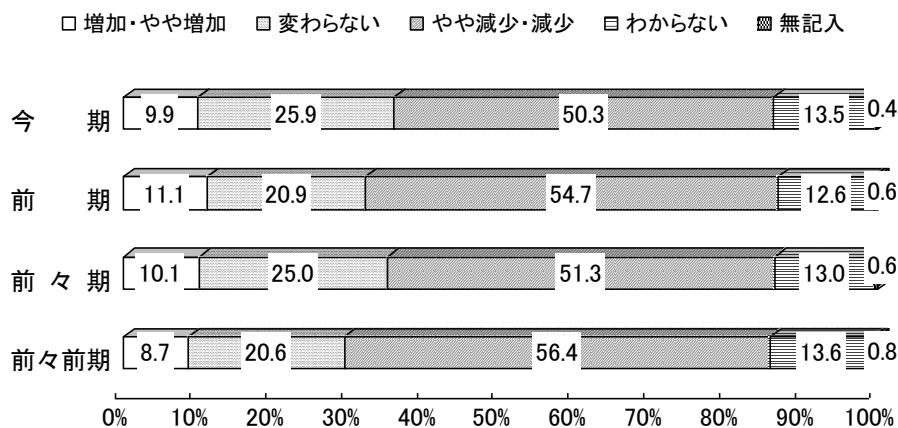


3. 今後の売上見通し（図—6 参照）

全体では、「増加・やや増加」が9.9%（前回11.1%）、「やや減少・減少」が50.3%（前回54.7%）で、D I値は△40.4（前回△43.6）となり、3.2ポイント改善の見通しとなった。

業種別では、飲食業（△7.8ポイント）、交通運輸業（△3.2ポイント）、その他の業種（△11.4ポイント）で悪化が見られるが、それ以外の業種では改善している。特に卸売業では、△35.8（前回△55.3）と19.5ポイント改善している。地区別では、すべての地区で改善が見られ、特に南勢地区で△43.6（前回△52.5）と8.9ポイントの改善、東紀州地区で△45.4（前回△53.5）と8.1ポイントの改善となった。

図—6 売上見通し



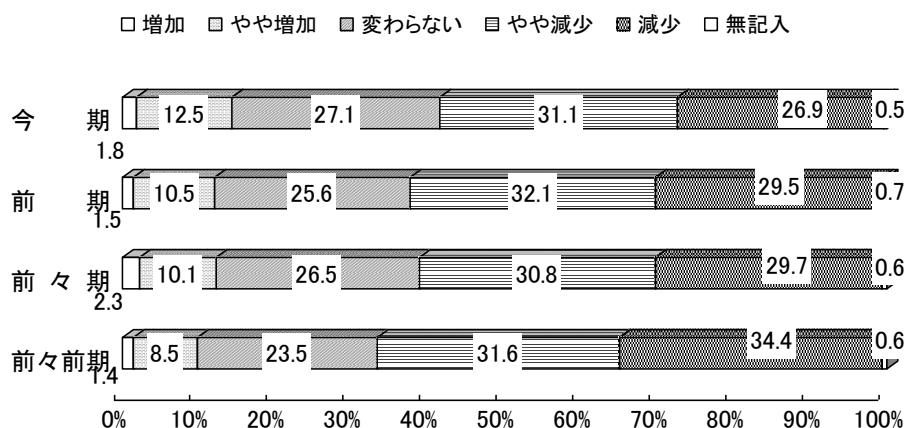
4. 利益状況（図—7 参照）

全体では、「増加・やや増加」14.3%（前回12.0%）、「やや減少・減少」が58.0%（前回61.6%）で、D I 値は△43.7（前回△49.6）となり、5.9ポイントの改善となった。

業種別では、交通運輸業（△6.6ポイント）、その他の業種（△8.2ポイント）で悪化が見られるが、それ以外の業種では改善している。特に卸売業では、△39.8（前回△53.9）と14.1ポイント改善している。

地区別では、すべての地区で改善となった。特に中勢地区では△41.5（前回△50.3）と8.8ポイント改善している。

図—7 利益状況



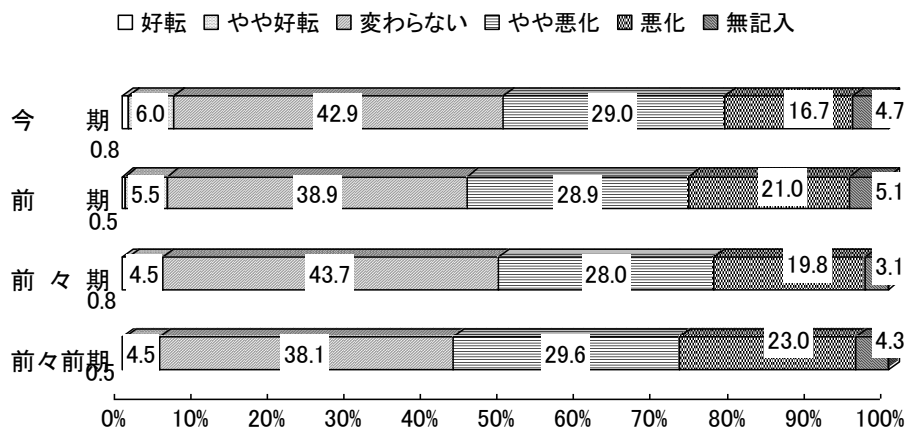
5. 販売条件（図—8 参照）

全体では、「好転」、「やや好転」が6.8%（前回6.0%）、「やや悪化」、「悪化」は45.7%（前回49.9%）で、D I 値は△38.9（前回△43.9）となり、5.0ポイント改善となった。

業種別では、小売業（△0.7ポイント）、交通運輸業（△4.9ポイント）、その他の業種（△1.4ポイント）で悪化が見られるが、それ以外の業種では改善している。特に卸売業では、△38.3（前回△49.4）と11.1ポイントの改善が見られる。

地区別では、伊賀地区（△37.1）では前回と同じで、それ以外の地区では改善している。

図—8 販売条件



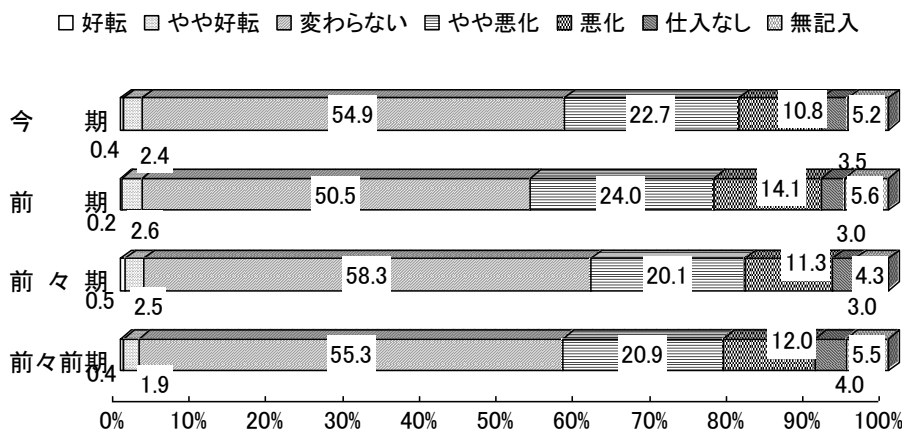
6. 仕入条件（図—9 参照）

全体では「好転」、「やや好転」が2.8%（前回2.8%）、「やや悪化」、「悪化」は33.5%（前回38.1%）で、D I値は△30.7%（前回△35.3%）となり、4.6ポイント改善となった。

業種別では、小売業（△0.1ポイント）、交通運輸業（△3.2ポイント）悪化が見られるが、それ以外の業種では改善している。特に建設業では、△31.5（前回△40.5）と9.0ポイント改善している。

地区別では、全ての地区で改善が見られ、特に東紀州地区では△36.1（△42.3）で6.2ポイント改善した。

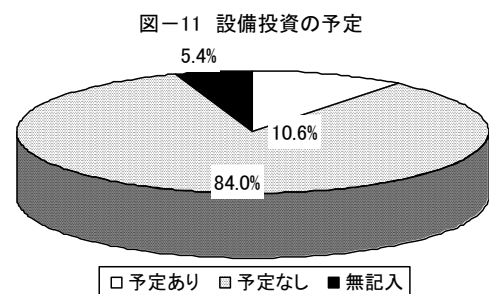
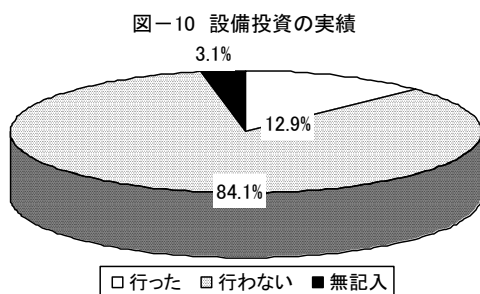
図—9 仕入条件



7. 設備投資（図—10・11 参照）

全体では、設備投資を行った企業は325社、12.9%（前回11.0%）、設備投資を予定している企業は269社、10.6%（前回9.4%）と増加した。

業種別では、交通運輸業が27.9%と他の業種よりも多く設備投資を行った。建設業が8.8%と他の業種よりも低い数値であった。また、地区別では南勢地区が実績14.9%と最も高く、予定では伊賀地区が12.0%と最も高くなっている。伊賀地区で実績10.3%、東紀州地区で予定8.8%が最も低い値となっている。



8. 資金繰り状況と今後の見通し

a) 現状 (図-12参照)

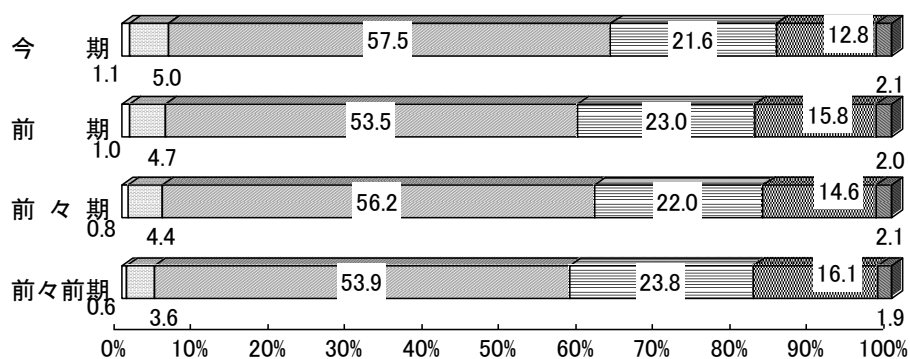
全体では「好転・やや好転」が6.1% (前回5.7%) に対し、「悪化・やや悪化」は34.4% (前回38.8%) で、D I値は△28.3 (前回△33.1) となり4.8ポイント改善となった。

業種別では、交通運輸業で悪化が見られるが、それ以外の業種では改善している。特に卸売業では、△19.1 (前回△28.7) と9.6ポイント改善している。

地区別では東紀州地区と伊賀地区でやや悪化となったが、それ以外の地区では改善し、中でも南勢地区が10.8ポイント改善している。

図-12 資金繰りの現状

□好転 □やや好転 ■変わらない □やや悪化 ■悪化 ■無記入



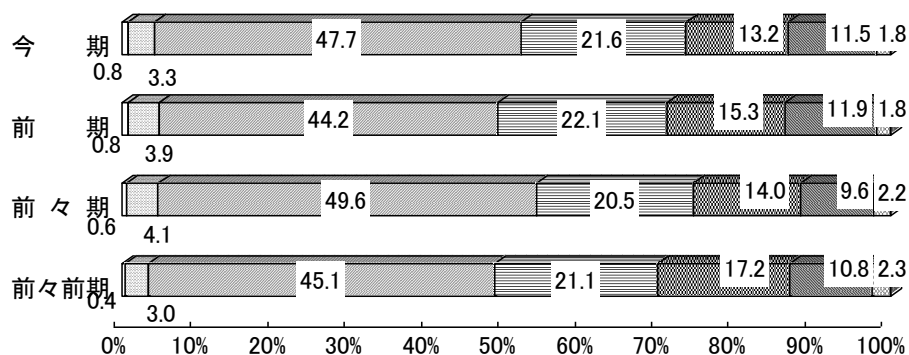
b) 見通し (図-13参照)

全体では、「好転・やや好転」が4.1% (前回4.7%) に対し、「悪化・やや悪化」は34.8% (前回37.4%) で、D I値は△30.7 (前回△32.7) となり、2.0ポイントやや改善の見通しとなった。

業種別では、建設業と飲食業でやや悪化となったが、それ以外の事業所では改善しており、特に卸売業が△22.5% (前回△32.6) と10.1ポイント改善している。また、地区別では東紀州地区以外は改善となった。

図-13 資金繰りの見通し

□好転 □やや好転 ■変わらない □やや悪化 ■悪化 ■わからない ■無記入



9. 借入状況

a) 現状

回答企業 2,527 社のうち、借入を実施した企業は、1,040 社、41.2% (前回 1,071 社、40.9%) であった。

b) 借入の難易度 (図-14・15 参照)

全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 13.8% (前回 14.6%)、「困難」は 18.5% (前回 18.4%) で、D I 値は△4.7 (前回△3.8) となり、0.9 ポイント悪化となった。

業種別では、建設業と卸売業以外は悪化傾向であり、地区別では南勢地区と東紀州地区以外が悪化となった。

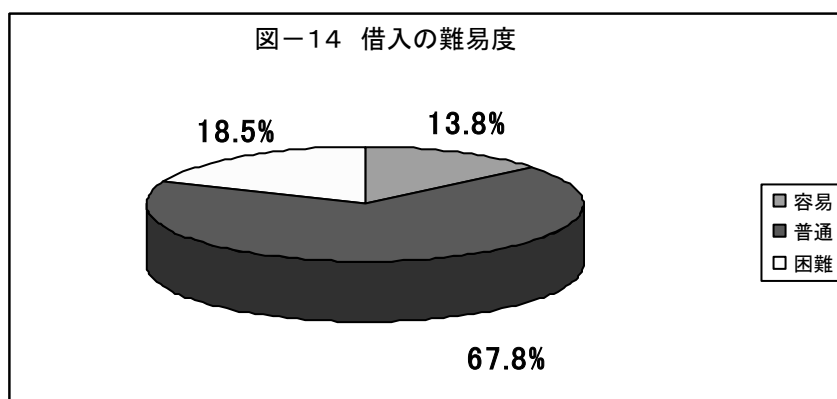
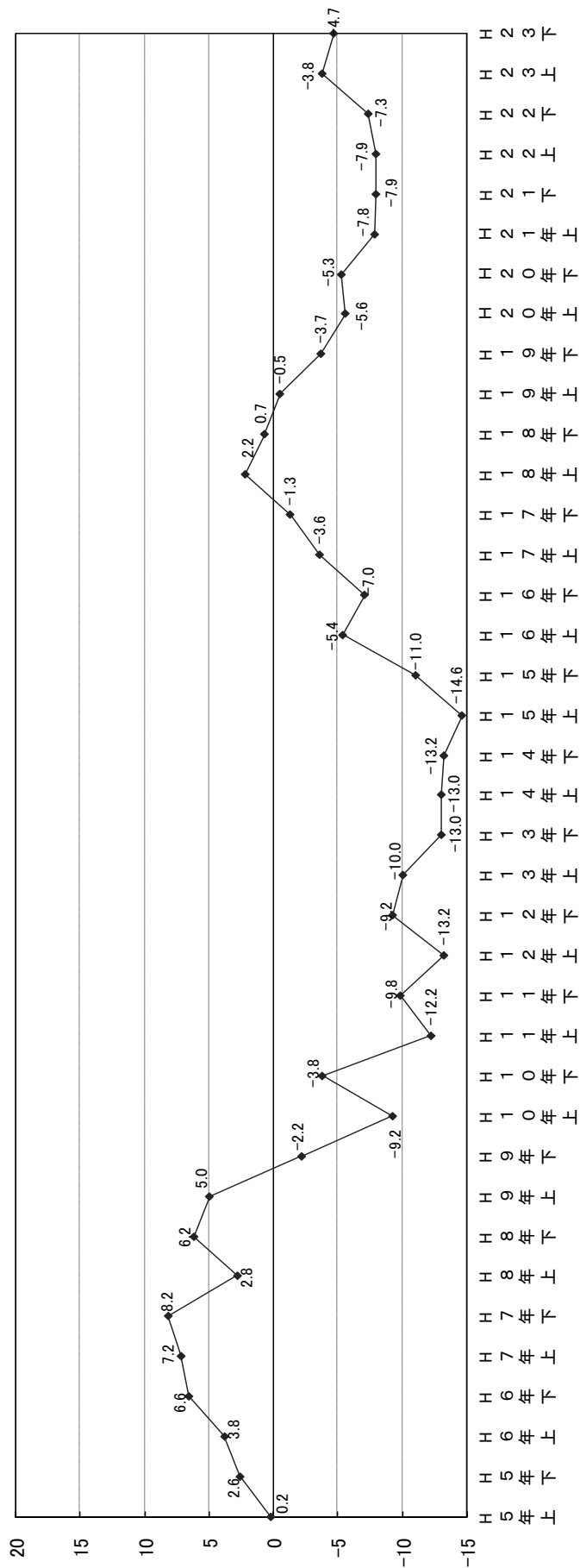


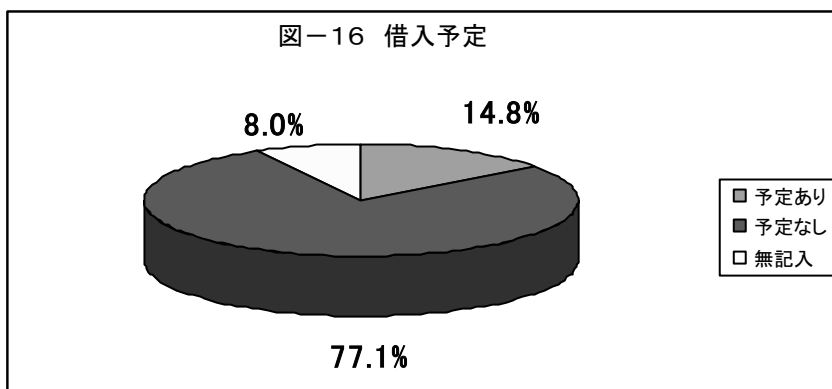
図-15 借入難易度DI値の推移



10. 借入予定（図－16参照）

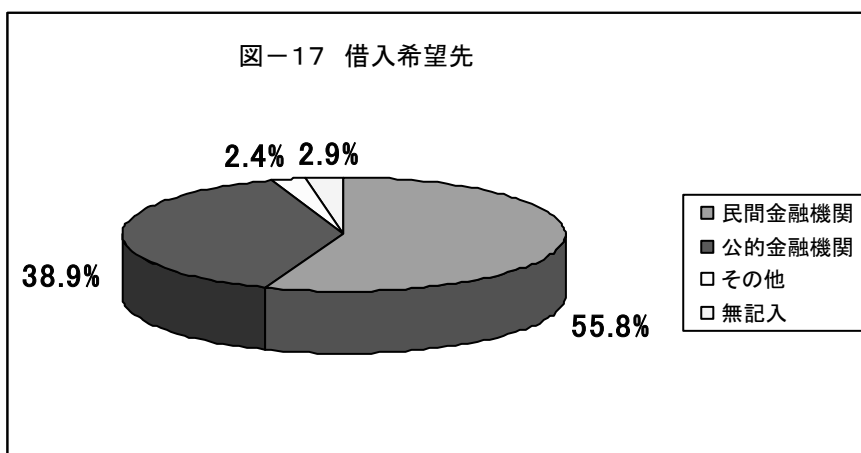
全体では、回答企業 2,527 社中、借入を予定している企業は 375 社、14.8%（前回 439 社、16.8%）であった。

業種別で借入を予定しているのは、交通運輸業で 23.3%と最も高く、最も低かったのは飲食業の 7.2%であった。また地区別で借入を予定しているのは、中勢地区と伊賀地区が 16.7%と最も高く、南勢地区が 11.9%と最も低かった。



11. 借入希望先（図－17参照）

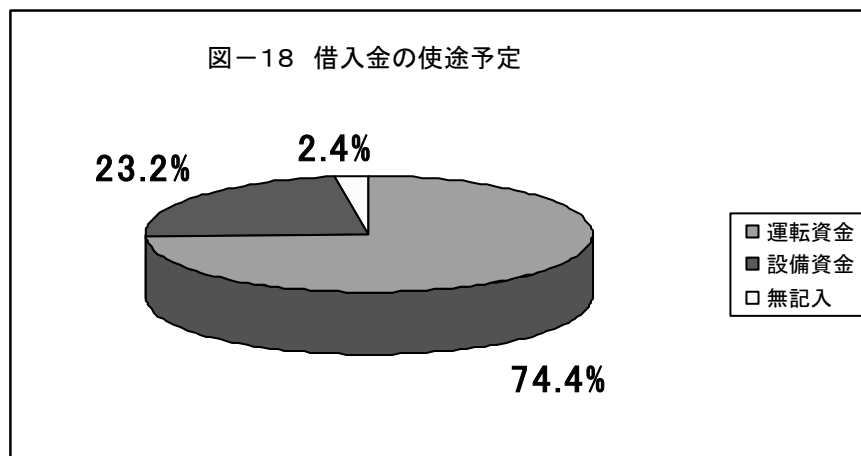
借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」が 55.7%（前回 58.8%）に対し、「公的金融機関」は 38.9%（前回 34.4%）で、民間金融機関での借入希望が減少、公的金融機関での借入希望が増加している。



12. 借入金の使途予定（図－18参照）

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が74.4%（前回75.4%）に対し、「設備資金」は23.2%（前回20.3%）であった。

業種別では、「運転資金」で建設業が88.7%、「設備資金」では交通運輸業が70.0%と最も高くなった。



13. 経営上の問題点（表－1参照）

全体では、「売上・受注の停滞減少」61.5%（前回62.3%）、「競争激化」33.9%（前回31.6%）、「製品・商品単価の下落」20.1%（前回18.1%）の順となっている。

業種別でも、全ての業種で「売上・受注の停滞減少」の回答が最も多く、「競争激化」、「製品・商品単価の下落」も上位を占めている。また、地区別では、東紀州地区のみ「設備店舗の狭小老朽化」が第2位であった。

経営上の問題点（3項目以内複数回答）

区 分		第1位	第2位	第3位
業 種 別	製 造 業	売上・受注の停滞減少 (62.5)	製品・商品単価の下落 (33.0)	競争激化 (22.1)
	建 設 業	売上・受注の停滞減少 (65.3)	競争激化 (45.7)	製品・商品単価の下落 (17.4)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (62.9)	競争激化 (33.1)	製品・商品単価の下落 (26.5)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (70.1)	競争激化 (43.4)	製品・商品単価の下落 (20.8)
	飲 食 業	売上・受注の停滞減少 (59.9)	設備店舗の狭小老朽化 (34.1)	競争激化 (22.8)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (51.0)	競争激化 (32.9)	設備店舗の狭小老朽化 (20.0)
	交通運輸業	売上・受注の停滞減少 (46.5)	人件費以外の経費増加 (30.2)	競争激化 (18.6)
	そ の 他	売上・受注の停滞減少 (43.0)	競争激化 (26.0)	製品・商品単価の下落 (17.0)
地 区 別	北 勢	売上・受注の停滞減少 (58.8)	競争激化 (37.5)	製品・商品単価の下落 (20.5)
	中 勢	売上・受注の停滞減少 (66.9)	競争激化 (36.8)	製品・商品単価の下落 (20.2)
	南 勢	売上・受注の停滞減少 (64.3)	競争激化 (22.9)	製品・商品単価の下落 (19.5)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (59.4)	競争激化 (37.2)	製品・商品単価の下落 (18.8)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (62.4)	設備店舗の狭小老朽化 (20.5)	製品・商品単価の下落 (20.0)
総 合		売上・受注の停滞減少 (61.5)	競争激化 (33.9)	製品・商品単価の下落 (20.1)

県下商工会議所地域の景況

○桑名商工会議所地域

現 状

全体では、「良い・やや良い」との回答が 6.4%、「変わらない」が 32.3%、「やや悪い・悪い」が 61.3%、D I 値は△54.9（前回△44.7）で、前回調査と比べてマイナス 10.2 ポイントと大幅に悪化している。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 4.8%、「変わらない」が 26.4%、「やや悪い・悪い」との回答は 53.7%、DI 値は△48.9（前回△40.6）となり、現状のD I 値と比べてプラス 6.0 ポイントと若干の回復が見込まれる。

目立った変化等

景気の現状を示すD I 値は、前回調査までは四期連続で回復していたが、今回は前回調査を下回る結果となった。順調な回復を見せていた製造業が 2.3 ポイント悪化するなど、大半の業種で悪化している。ただ、D I 値の悪化は「やや悪い・悪い」との回答が増えたのではなく、「良い・やや良い」との回答が減ったことに起因しており、今後の見通しは不透明である。

売上状況についてD I 値は△28.5（前回△31.4）と 2.9 ポイント回復しているのに対し、利益状況についてDI 値は△37.6（前回△35.1）と 2.5 ポイント悪化している。「売上状況」と「利益状況」のD I 値が相反する結果である。経営上の問題点としては相変わらず「売上・受注の減少」「競争激化」との回答が多く、売上状況が少しは良くなったものの、競争激化による値引き、あるいは円高等の要因が利益を減少させ、「売れるが儲からない」と感じる状態にあるのではないかと推察される。

○四日市商工会議所地域

現 状

「良い・やや良い」が 11.9%（前回 11.7%）、「変わらない」が 30.4%（前回 23.7%）、「やや悪い・悪い」が 56.0%（前回 63.8%）となり、現状D I 値は△44.1 で前回値の△52.1 より、8.0 ポイントの改善を示す結果となった。

業種別に前回値と対比すると、製造業・建設業・サービス業で改善傾向が見られたが、卸売業・小売業では前回より悪化した。

見 通 し

「良い・やや良い」が 8.7%、「変わらない」が 23.0%、「やや悪い・悪い」が 51.6% となり、D I 値は△42.9（前回△47.6）との結果であった。この値と今期調査で得た「経営状況の現状」におけるD I 値△44.1 とを比較すると、1.2 ポイントの改善を見込む結果となった。

業種別に前回値と対比すると、建設業・卸売業・小売業・サービス業のD I 値は緩やかに改善する見通しだが、製造業はやや悪化する見通しとなった。

目立った変化等

全体としては、売上状況・利益状況・資金繰りの現状のD I 値については、僅かな改善が見られたものの、経営上の問題点では、「売上・受注の停滞減少」(57.9%)、「競争激化」(38.6%)、「製品・商品単価の下落」(20.9%)の順で前回調査に引き続き上位を占めた。特に、「売上・受注の停滞減少」の回答割合が約6割と依然多い。一方、「原材料高および不足」を問題として捉えている企業は、10.6%(前回14.8%)と減少した。

○鈴鹿商工会議所地区

現 状

対象950社 回答369社 回答率38.8%。「良い・やや良い」と答えた企業が10.6%(前回9.4%:前年同期4.6%)、「やや悪い・悪い」と答えた企業は61.0%(前回67.4%:前年同期67.6%)。また、D I 値が△50.4(前回△58.0:前年同期△63.0)と前年同期より12.6ポイント改善している。

現状について、前年同期に比べやや改善傾向にある。

見 通 し

「良い・やや良い」と答えた企業が7.0%(前回7.6%:前年同期1.5%)、「やや悪い・悪い」と答えた企業は55.8%(前回55.9%:前年同期59.9%)。また、D I 値が△48.8(前回48.3:前年同期△58.4)と前年同期より9.6ポイント改善している。

今後の見通しについて、改善傾向にあるが、大幅に改善する見通しではない。

目立った変化等

経営上の問題点として、今期では「売上・受注の停滞減少」56.4%、「競争激化」41.5%、「製品・商品単価の下落」19.0%の順で上位を占めた。前年同期の調査では、1位は「売上・受注の停滞減少」で67.1%、2位は「競争激化」で38.0%、3位が「製品・商品単価の下落」で27.5%となっており、この3つが上位を占めている。

近年では、「売上・受注の停滞減少」と「競争激化」が上位を占めており、同業者との競争により顧客の奪い合いや単価の下落などが、「売上・受注の停滞減少」に繋がっていると推察される。

○亀山商工会議所地域

現 状

全体では、「良い・やや良い」が5.3%(前年同期3.8%)、「やや悪い・悪い」が68.4%(前年同期59.8%)となり、D I 値は△63.2で、前年同期値△56.0より7.2ポイント悪化しているものの、やや改善の兆しもある。

見 通 し

「良い・やや良い」が9.2%(前年同期4.8%)、「やや悪い・悪い」が60.5%(前年同期61.6%)となり、D I 値は△51.3で、前年同期△56.9より5.6ポイント好転しているものの、依然厳しい状態が続いている。

目立った変化等

経営上困っている問題点としては、前年同期同様「売上・受注の停滞減少」が最も多く、続いて2位は「競争激化」、3位は「製品・商品単価の下落」となっている。また、前年同期・前期の調査に比べ、「人材育成」、「人手不足」の問題が増加しており、人材面が浮上してきている。

○津商工会議所地域

現 状

「良い・やや良い」が7.5%（前回12.0%：前年同期7.3%）、「やや悪い・悪い」が61.5%（前回63.0%：前年同期55.1%）、D I値が△54.0（前回△51.0：前年同期△47.8）と前年同期より6.2ポイントマイナス幅が増加する結果となった。

業種別では建設業で悪化傾向が見られた。一方で製造業では前回から9.1ポイント良化した。

見 通 し

「良い・やや良い」が4.6%（前回15.0%：前年同期5.5%）、「やや悪い・悪い」が53.0%（前回57.0%：前年同期56.2%）、D I値は△48.4（前回△42.0：前年同期△50.7）と前年同期より2.3ポイントマイナス幅が減少する見通しとなっている。業種別では製造業で14.0ポイントマイナス幅が増加する見通しが見られる。また、建設業・小売業では悪化の数値を示している。

目立った変化等

経営上の問題点としては、「売上・受注の停滞減少」が最も多く68.1%となった。次いで「競争激化」41.3%、「製品・商品単価の下落」21.1%となった。前回と比較すると順位の変化はないものの「売上・受注の停滞減少」に2期連続して集中し、今期は3.6ポイント上昇した。（前回8.2ポイント上昇）

業種別に見ると、どの業種も「売上・受注の停滞減少」を最も困っている問題として捉えている。

○松阪商工会議所地域

現 状

全体では「良い・やや良い」が7.2%（前回7.3%）、「やや悪い・悪い」が59.8%と（前回68.5%）となり、D I値は△52.6（前回△61.2）で前回に比べ8.6ポイント改善しているという結果となった。業種別に見ると製造業、建設業、卸売業、サービス業が改善となった、特に卸売業は44.8ポイントと大幅に改善されたが、小売業では悪化が見られた。

見 通 し

全体では「良い・やや良い」が7.3%（前回7.6%）、「やや悪い・悪い」が57.1%と（前回62.3%）となり、D I値は△49.8（前回△54.7）で前回に比べ4.9ポイント改善の見通しとなっている。業種別では小売業では悪化を示したが、それ以外の業種では改善の見通しとなっている。

目立った変化等

経営上困っている問題点として、前回と同様「売上・受注の停滞減少」が最も多く、2位は「競争激化」、3位は「製品・商品単価の下落」という結果となった。

○伊勢商工会議所地域

現 状

全体では「良い・やや良い」が12.0%（前回7.9%）、「やや悪い・悪い」が59.1%（前回60.9%）、D I値△47.1（前回△53.0）と前回に比べ5.9ポイント改善している。

業種別では、卸売業、飲食業、サービス業、小売業で改善が見られ、中でも卸売業は前回に比べ33.6ポイントと大きく改善している。それ以外の業種では悪化傾向である。

見 通 し

全体では「良い・やや良い」が7.4%（前回6.5%）、「やや悪い・悪い」が50.9%（前回55.3%）で、D I値は△43.5（前回△48.8）と前回より5.3ポイント好転している。

業種別では、飲食業、卸売業、小売業、サービス業の順で改善が見られ、それ以外では悪化となっている。

目立った変化等

経営上の問題点として、全体では前回に引き続き、「売上・受注の停滞減少」が61.0%と最も多く、次いで「競争激化」23.9%、「製品・商品単価の下落」19.3%の順となっている。

業種別でも、全業種で「売上・受注の停滞減少」が第1位となっている。その他で目立った項目として、「製品・商品単価の下落」の割合が製造業、卸売業で前回に比べて高くなっている。

○鳥羽商工会議所地域

現 状

全体では「良い」・「やや良い」があわせて11.7%、「やや悪い」・「悪い」があわせて68.2%、D I値△56.5（前期△75.3、前々期△62.4）と前期よりも改善している。

業種別では、建設業と飲食業を除く業種が改善している。

見 通 し

今後の見通しについては、「良い」・「やや良い」との回答は3.9%、「やや悪い」・「悪い」の回答については61.3%（前期62.0%）。D I値は△57.4（前期△59.3）で、前期より1.9ポイント改善している。業種別では建設業、飲食業、その他の業種を除く業種が改善している。

目立った変化等

最近の売上状況ではD I値△54.3（前期△70.0）と15.7ポイント改善しており売上の見通しについてもDI値△50.4（前期△58.0）と7.6ポイント改善している。

利益状況はD I 値△59.7(前期△68.6)と前期に比べ 8.9 ポイント改善。業種別では飲食業とその他業種を除く業種で改善している。経営上困っている問題では、「売上・受注の停滞減少」「設備店舗の狭小老朽化」「製品・商品単価の下落」が前期と引き続き問題点の上位となっている。

○上野商工会議所地域

現 状

全体では、「良い・やや良い」が 5.7% (前回 13.6%)、「やや悪い・悪い」が 55.0% (前回 66.2%)、D I 値が△49.3 (前回△52.6) で 3.3 ポイントの改善となったが、現状が変わらないと考える方は前回の約 2 倍となっており、良くも悪くも現状維持にとどまる結果となった。

業種別では、サービス業に大幅な改善傾向がみられ、他の業種もわずかに改善の傾向にある。

見 通 し

全体では、「良い・やや良い」が 4.3% (前回 8.1%)、「やや悪い・悪い」が 53.6% (前回 52.7%) で、D I 値は△49.3 (前回△44.6) となり 4.7 ポイントの悪化の見通しとなった。

業種別では、卸売業が改善の見通しとなったが、全体的に横ばい傾向がうかがえる。

目立った変化等

経営上困っている問題点としては、「売上・受注の停滞減少」が 65.2%と最も多く、2位は「競争激化」が 36.2%と引き続き上位に上がっている。「原材料高及び不足」「借入難」の問題が落ち着いた一方、「製品・商品単価の下落」という問題が台頭しつつある。

○名張商工会議所地域

現 状

全体では「良い・やや良い」が 7.9%、「やや悪い・悪い」が 56.9%で、D I 値は△49.0% (前回△43.4) となり、前回より 5.6 ポイント悪化した。

見 通 し

全体では「良い・やや良い」が 5.5%、「やや悪い・悪い」が 61.2%で、DI 値は△55.7 (前回△49.4) となり、前回より 6.3 ポイント悪化の見通しとなった。

目立った変化等

経営上困っている問題として「売上・受注の停滞減少」が 57.0%で最も多く、次いで「競争激化」が 37.6%で 2 位、「製品・商品単価の下落」が 19.4%となり、前回の 5 位から今回は 3 位となった。1 位と 2 位は前回同様の結果。

○尾鷲商工会議所地域

現 状

回答 169 企業中、「良い・やや良い」が 6.5% (前回 5.2%) に対し、「やや悪い・悪

い」61.5%（前回66.9%）で、現状DI値は△55.0となり、前回（△61.7）と比較して6.7ポイント改善した。

見 通 し

「良い・やや良い」が5.9%、「やや悪い・悪い」が50.3%、DI値は△44.4で、前回調査時の見通し（△57.1）より12.7ポイントの改善している。

目立った変化等

現状について「サービス業」△33.3と前回（△66.6）比較すると、33.3ポイントの大きい改善が見られた。

経営上困っている問題点では前回と変わらず「売上・受注の停滞減少」（今回63.3%）が大きく占め、前回、東日本大震災の影響が出たと思われた「原材料高及び不足」（22.3%）が2位だったが、今回は「製品・商品単価の下落」（20.7%）が2位となった。

「原材料高及び不足」13.0%と前回22.3%と比較して、9.3%の回復が見られ、東日本大震災後から回復傾向にあると見られる。

また、3位は前回と変わらず「競争激化」（20.1%）となった。

○熊野商工会議所地域

現 状

「良い・やや良い」が11.5%、「悪い・やや悪い」が67.3%、DI値が△55.8となり昨年下期から改善傾向にあり、業種別に見ても概ね良化している。

見 通 し

「良い・やや良い」が3.8%、「悪い・やや悪い」が65.6%、DI値が△61.6となり現状同様改善が見られたが、依然として今後の見通しは明るくない。

目立った変化等

激甚災害に指定された9月の台風による水害の影響により、床上浸水や倒壊等の被害で休業や廃業する事業所が多数あり、相当な景況感の悪化が予想されたが、全体の数値としては良化した。

業種別に見ると、飲食業や製造業では数値が悪化したが、復興の為の需要増の影響か建設業や宿泊業では大幅な改善が見られた。

景況調査票

平成 24 年 1 月

会議所	No.	地域産業

平素は種々ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。
 さて、当所では地区内企業の皆さんの実態を的確に把握し、問題点を抽出し適切な対策を計ることが重要な使命でもありますので下記項目について景況調査を実施いたします。
 つきましては、ご多忙のところ大変恐縮に存じますが1月13日までにご回答賜わりますよう、ご協力の程特にお願ひ申し上げます。

I. 企業の概要

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

1. 業種 (主たるもの1つ)

〈製造業〉 1. 食料品 2. 繊維品 3. 機械製品 4. 金属製品	5. 木材木製品 6. 化学製品 7. 土石窯業 8. 印刷・出版 9. その他
〈建設業〉 10. 土木工事 11. 建築工事 12. その他	
〈卸売業〉 13. 食料品 14. 繊維・身の回り品 15. その他	
〈小売業〉 16. 繊維・身の回り品 17. 食料品 18. 家具・日用品 19. 電気製品 20. その他	
〈飲食業〉 21. 飲食店	
〈サービス業〉 22. 美容・理容 23. ホテル・旅館 24. 自動車整備 25. 不動産 26. その他	
〈交通運輸業〉 27. 交通運輸 (その他) 28. その他 ()	

2. 常時使用従業員 (会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0~5人	2. 6~20人	3. 21~50人	4. 51~100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

II. 企業の経営状況について

3. 現状について

1. 良 い	2. やや良 い	3. 変わら ない	4. やや悪 い	5. 悪 い
--------	----------	-----------	----------	--------

4. 今後の見通しについてどう思いますか。

1. 良 い	2. やや良 い	3. 変わら ない	4. やや悪 い	5. 悪 い	6. わから ない
--------	----------	-----------	----------	--------	-----------

5. 売上状況について、23年7~12月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増 加	2. やや増 加	3. 変わら ない	4. やや減 少	5. 減 少
--------	----------	-----------	----------	--------

6. 売上の見通しについて、24年1~6月は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 増 加	2. やや増 加	3. 変わら ない	4. やや減 少	5. 減 少	6. わから ない
--------	----------	-----------	----------	--------	-----------

7. 利益状況について、23年7~12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増 加	2. やや増 加	3. 変わら ない	4. やや減 少	5. 減 少
--------	----------	-----------	----------	--------

8. 販売条件 (景況) について、23年7~12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好 転	2. やや好 転	3. 変わら ない	4. やや悪 化	5. 悪 化
--------	----------	-----------	----------	--------

9. 仕入条件 (景況) について、23年7~12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好 転	2. やや好 転	3. 変わら ない	4. やや悪 化	5. 悪 化	6. 仕入 なし
--------	----------	-----------	----------	--------	----------

10. 設備投資について

23年7~12月の実績		24年1~6月の予定	
1. 行 った	2. 行 わない	1. 予 定あり	2. 予 定なし

11. 資金ぐりの現状について、23年7~12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好 転	2. やや好 転	3. 変わら ない	4. やや悪 化	5. 悪 化
--------	----------	-----------	----------	--------

12. 資金ぐりの見通しについて、24年1~6月は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 好 転	2. やや好 転	3. 変わら ない	4. やや悪 化	5. 悪 化	6. わから ない
--------	----------	-----------	----------	--------	-----------

13. 借入の現状について、23年7~12月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容 易	2. 普 通	3. 困 難
--------	--------	--------

14. 借入予定はどうか。(24年1~6月)

1. 予 定して いる	2. 予 定して いない
-------------	--------------

(問14で1に答えた方のみ)

借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの1つ)

1. 民間の金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
------------	-----------	--------

資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの1つ)

1. 運 転 資 金	2. 設 備 資 金
------------	------------

15. 現在経営上、困っているものは何ですか。あれば3つ以内選んで下さい。

1. 売上、受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等 (緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16. その他お困りの問題・ご意見等がありましたらご記入下さい。

()

ご協力ありがとうございました。